

SNSで組合員を巻き込む

図書館下食堂(かんした)の大人気商品の「天津麻婆丼」の販売が再開するタイミングで、組合員もTwitterで一緒に盛り上がりました！

活動概要

媒体：Twitter

内容：「#かんした」をつけて、Twitterで天津麻婆丼やフェアの宣伝を投稿し、組合員にも「#かんした」をつけて投稿するように促しました。



POINT.1

SNSで組合員交流

組合員にもっと食堂利用してもらいたいという想いから、Twitterで#かんしたをつけて人気商品である天津麻婆丼の販売再開やフェアの宣伝の投稿をしました。組合員に向けて#かんしたをつけて感想や写真を投稿するように促し、投稿してもらうことで、たくさんの組合員の食堂利用を促進できました。

また、新型コロナウイルスの感染対策についても周知し、組合員が食堂を安心して使うことができるようにしました。

さらに、宣伝の投稿で、ツイッターのアンケートの機能を用いてメニューの人気投票などを行うことで、組合員は気軽に答えることができました。大学生協は人気の傾向を組合員の声として簡単に知ることができ、組合員が自分たちで食堂をつくる工夫をしました。

大阪大学生協
組合員を巻き込んだ
食品販売再開



POINT.2

組合員の健康も考える

天津麻婆丼に加えて、オクラ巣ごもり玉子やカルシウムたっぷり和えなどのおすすめの副菜の宣伝の投稿もすることで、組合員がバランスの良い食事について考えるきっかけになりました。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [奥村 将也]
Okumura.Masaya@univ.coop